

岐阜県立岐阜工業高等学校

学校長 山田 和正
学校住所 岐阜県羽島郡笠松町常盤町 電話058-387-4141

- 1 会の名称 学校を考える会
- 2 会の構成
- | | | | | |
|------------|-------|------------------|-------|--------|
| 委員 | 岩佐 洋二 | 株式会社 岡本 常務 | | |
| | 大橋 仁壽 | 株式会社 大垣鐵工所 取締役社長 | | |
| | 羽賀 和子 | 地域住民代表 (元育友会副会長) | | |
| | 柴田 正義 | 名古屋鉄道株式会社 笠松駅長 | | |
| | 前田 勘次 | 地域住民代表 (元育友会会長) | | |
| (委員名は五十音順) | | | | |
| 准委員 | 川瀬 明久 | 育友会 会長 | | |
| | 竹腰 功 | 育友会 副会長 | | |
| 学校側 | 山田 和正 | 校長 | 林 忠弘 | 教務主任 |
| | 平井 正春 | 副校長 | 近藤 益則 | 生徒指導主事 |
| | 日比野政則 | 事務部長 | 牧村 高憲 | 進路指導主事 |
| | 戸崎 晴雄 | 教頭 (全) | 川寫 俊夫 | 工業部長 |
| | 上原 憲一 | 教頭 (全) | | |
| | 渡邊 克尋 | 教頭 (定) | | |
- 3 会の目的 学校運営等について学校外の有識者等から幅広く意見を聞き、本校教育の改善・充実に資するとともに、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを目指す。そのため、岐阜県立岐阜工業高等学校に学校評議員を置く。
- 4 会の開催 平成20年2月18日(月) 13:30~16:30 岐阜工業高等学校 校長室
委員2名と学校側5名が出席

5 会の概要

主テーマ 工業高校に期待するもの

生徒研究発表会の参観

各学科3年生の代表が課題研究で取り組んできた研究の成果を全校生徒の前で発表する発表会を参観していただいた。生徒の熱の入った発表に耳を傾けていただきました。

感想 工業高校生のレベルとして勉強や部活動に取り組む中で素晴らしい内容でした。これは、良き指導者が有ってこそできるものだと思います。指導された先生方のおかげです。企業経営にも繋がる成果です。大事にしてください。

感想 一般にはその中身にそれほど興味が湧かないようなことに対して、工業高校生は、なぜだろうと疑問を持つことから始め、成果を上げることができるという素晴らしい能力を持つ



ていることに驚きました。ただ何となく入学し卒業するのではなく、夢や目標に向かい努力し、それを将来の仕事に繋げられる素晴らしい体験をできた子供たちは幸せだと思います。

学校の教育現状について 報告

教育実践 学校長より この1年間の取り組みを、数多くの新聞に取り上げて頂いた記事を基に報告する。

○ ものづくりには、時間で解決できない一面がある。

意見 ものづくりは、若者の力だけでも進まない。そこに良い環境・良い指導者が有ってこそ、若者のモチベーションを高め、素晴らしいものづくりができ。学校も会社と同様です。

○ マナーが悪いなどの苦情だけでなく、一生懸命やりたいけどやらせてもらえないという悩みも寄せられている。

意見 若者のマナーの悪さには、目を背けたいと思うことがある。でも、それはだめだと知らないから、流行だからと子供たちが思ってしまったからなのでは。親（周りの大人）と学校がしっかりと教えてやらなければいけないと思う。苦情を言うだけでなく一緒に教育をしていきましょう。

意見 見かけよりは増しな生徒（？）が多いです。校内ではよく挨拶をしてくれる。羨ができてきたからだと思う。外ではなかなか難しいですね。

意見 やりたいというときに、やらせてあげる。これが伸ばすコツである。しかし、施設などの制約からできないこともあるのでしょうか。そんなときは、いつならできるなどの仮契約的なことをしてあげると良いのでは。期待して待ってくれると思う。全員に平等にとは難しいでしょう。

○ 若い先生も必死に資格を取り、技術を磨いている。

意見 技術の伝承は、技術ビデオをいくら見てもできない。やり方を見て真似はできるが、繊細な感性は伝わらない。やはり、人と人のふれあいから真の技術伝承ができる。若い先生にこれからの工業教育を背負っていくという認識が有るのは素晴らしいことです。

意見 学校全体が良いムードになってきた証拠だと思う。岐阜工業高校へ来たいという先生や中学生が増えるといいですね。

来年度に期待するもの

意見 現状を評価して、「良」です。今の取り組みを推し進めていってください。

意見 自分達が住んでいる地域に貢献できる「開かれた学校作り」を進めてください。テクノボランティアや部活動の成果など地域行事や新聞でよく見ます。「岐工」の素晴らしさを知ってもらうためにも多くの生徒がいろんな場面に出向いてくれることを期待します。もっとも地域もこれらに対して少しでも還元してあげられると良いですね。地域と密着した学校を目指してください。

意見 将来の地元産業界を支え続ける工業高校として期待します。

会のまとめ

実習を中心とした授業参観、生徒の素顔を見て頂いた文化祭、3年間のまとめ活動の研究発表会と本校の普段の取り組みを見て頂き、多くの示唆をいただきました。これからも実のある工業教育を進めていく中で、資格取得や部活動など自己を高めることができる生徒を育成していきます。また、「地域への貢献」をキーワードに様々な場面で活躍できる岐阜工業高校であり続けていこうと思います。